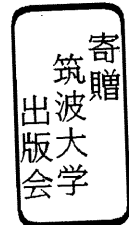


130.2
Sa79

— プラトンからヘーゲルまで —
哲学史の劇場

笹澤
豊著

筑波大学出版会



08022620

目次

序章 哲学とイメージ 1

哲学——その分かりにくさ／もつとイメージの言葉を／伝達と理解／視覚の効用／カントの方針転換／フィクションとしての〈難解さ〉／イメージの系譜学／術語というフィクション／イメージと表現／哲学の流儀／概念の言葉／解読の面白さ／イメージと概念／哲学の戦い／〈自己〉を求める旅へ

第一章 哲学という建築の現場から 21

1 世界の再構築としての哲学 22

「建築好き」な人間の本性／建築術としての哲学／建築物としての哲学史／上方へ／プラトン——形而上学的思考の典型／太陽の比喩／思想の苦闘から／原因としての〈善〉／ソクラテスの失望／二つの太陽／〈善〉と太陽／〈認識する〉ことと〈見る〉こと／二つの机／真実在としてのイデア／イデアと事物／アリストテレスの問題提起／「不動の動者」の発想／プラトンとアリストテレス

2 解体、そして建て替への試み 43

土台へのまなざし／ベーコンとデカルト／近代哲学のアルケー／古い建物の解体／プラトンに対する評価／方法としての懐疑／コギト・エルゴ・スム／建物と土台との関係／蜜蜂の比喩／のっぺらぼうの存在としての〈物体〉／実体と属性／〈神〉の上棟／循環の構造／奇妙な建物／〈人間〉の住む場所／精神と身体

3 建築から発見の道へ——ベーコンの企て 66

世界の再構築／力としての知／虚構の源泉／四つのイドラ／事象そのものへ／歪められた鏡像／イメージの変質／〈建築〉から〈発見の道〉へ／実験と帰納法／蜜蜂の流儀／一つの死

第二章 人間という海に向かって 79

1 光と見るもの 80

合理論と経験論／幾何学・遊猟・航海／カントの『純粹理性批判』／『エティカ』の道／人間への道／奇妙な囚人たちの話／牢獄としての世界／囚人の解放としての教育／〈光〉と〈見るもの〉／光の伝播／情念の闇／二つの闇と一

つの光／光と理性／自然の光と光の付与者／光を遮るもの

2 知性の海へ、ロックが漕ぎだす 101

「生得観念」の港からの船出／白紙としての心／観念の形成／普遍的な知識は本来に存在しないのか／自然法／神の存在と生得観念／明証性の根拠／心は〈白紙〉なのか―ライプニッツの問い／大理石としての心／生得原理の存在をめぐる

3 心の海底探査―ライプニッツとヒューム 118

心は「窓」を持たない／「内から」か「外から」か／実用の言葉と形而上学の言葉／世界そのものとしての〈私〉／宇宙の鏡／心の実体性／十分な存在の理由／〈神〉の物語／〈無意識〉への着目／微小表象／私の「内」としての「外」／身体―〈無意識〉の存在領域／モノドとしての心／心の視座としての身体／「哲学史の常識」というフィクション／ライプニッツの不幸／〈意識〉からの出発／私の内の宇宙／哲学的思考と日常感覚／経験の重さ／信念の体系／劇場としての心／〈心〉は存在しない／知覚するもの・されるもの／フィクションとしての〈私〉／「つながり」というフィクション／原因と結果／懐疑論という暗礁／本能としての理性／〈身体〉の欠落

第三章 新しい島を求めて——カントの航跡をたどる

163

1 蝕まれた建物

164

懐疑論の白蟻／暗黒の大海へ／建築の夢を追って

2 廃墟からの出発

170

法廷としての『純粹理性批判』／ア・プリオリな総合判断／認識構造の解明
に向けて／建築の作業としての認識／現象と物自体／空間・時間というフィ
ルター

3 建築としての認識

178

連結の道具としてのカテゴリー／カテゴリーの客観的妥当性／〈因果〉だけで
はなく／経験の対象／経験とカテゴリー／客観性と主観性／自然の立法者／
因果的認識と科学性／認識の地動説／経験的観念論・超越論的實在論／超越
論的観念論・経験的實在論／私の〈外〉と〈内〉／夢と現実／観念論の理解を
めぐって／「物自体」の問題／〈自由〉の存在領域／材料のない建築／法廷の
判決

4	認識と実践の構図	204
	認識から実践へ／道徳の建物／悪徳の形而上学ではなく／住み慣れた住居か ら／人間の住めない建物	
5	「道徳の建物」のその後	212
	宮殿へのまなざし／二つの革命／革命の成り行き／闘争と解放のイメージ ／自我と非我／生化学としての哲学／もはや建築ではなく／裏切られた理論	
第四章	哲学の再生に向けて——概念の森へ	225
1	ヘーゲル自由論の視座	226
	ヘーゲルの旅立ち／〈自由〉の理念／意志の自律／委託物の例／見方の変更 ／人倫の法則／実体的自由／ここがロドス島だ／古代ギリシアの理想／人 倫的普遍者と個人／主体的自由の成立根拠／英雄と侍僕	
2	ヘーゲル弁証法の内実	246
	非合理と弁証法／哲学の課題	

3 ヘーゲル人間論の射程 251

人間のいない密林／個としての人間／理性の狡智／自然的存在としての人間／肉体に権利を／行為的存在／屠場としての歴史

4 ヘーゲルの行為理論 264

心理学的な見方の批判／行為の〈内〉と〈外〉／行為の広がり／行為と現実／法の法則／行為と人間の本質／法則と衝動／狡智の内実／創造的存在としての人間

参考文献 281
 あとがき 285